

特集 III

各社動向

キダチコミカンソウ、マリアアザミなど  
上市

アスク薬品

アスク薬品(千葉県市川市、☎0473・3009・7598)は、肝臓・胆

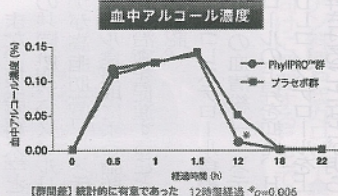
ミカンソウの乾燥エキス「フィルプロ(PhylPRO)」を上市した。製造元のマレーシア・ハイオトロピクス社はスイスの植物研究所と提携し、薬理活性の高いキダ

チコミカンソウの種苗の栽培と抽出に成功。GAP管理栽培から、医薬品GMP工場での抽出、リグナンの定性・定量の分析工程までの全工程標準化しており、米国で製法特許を取得している。

急性経口毒性試験、13週間亜慢性毒性試験などの安全性試験を行っているほか、有効性試験では定期的に飲酒習慣のある21〜50歳の男女15人(男性10、女性5人)に、ブラセボ対照無作為化二重盲検クロスオーバー試験を実施。「フィルプロ」錠剤を1日1回朝食後2錠(375mg/錠)を10

日間摂取させたところ、アルコール摂取に伴う酸化および炎症からの肝臓保護機能(抗炎症作用)、アルコール摂取による二日酔い(頭痛・目まい・気分)の軽減が示唆された。

また、アルコール解毒



作用についても確認されており、「フィルプロ」群の血中アルコール濃度はブラセボ群と比べて、1.5時間から12時間有意な低下が見られた。  
【図参照】  
このほか、アスク薬品では、ヨーロッパ薬局方に適合したシリマリン高含量の「マリアアザミ乾燥エキス」も取り扱っている。肝機能対応素材として新素材であるキダチコミカンソウ乾燥エキス「フィルプロ」との組み合わせ提案も含め、これから年末に向けての二日酔い対策素材として提案を行っている。